

2014年 日本スナイプ協会理事会 議事録

書記 岡田

日時 2014年11月15日 17時～19時
場所 和倉温泉観光会館
出席者 宮崎顧問、古賀会長、桑野副会長、西村、野元、吉留、内田、村山、内山、宮崎、木下、西居、白石、野見山、鈴木、笹井、山田、岡田

議 題

1 会長あいさつ

本協会は、1100人を超える会員数を有しており、JSAFの中でも大きなウエイトを占めている。現在開催している全日本選手権は、協会として、最大の、そして、最高の大会と位置付けており、今後とも、みんなでスナイプの活動を盛り上げていきたい。

2 協議事項（※下線項目は、2月理事会で協議）

①日本スナイプ協会 HP について

②クラスルール HP 掲載について

③2015全日本選手権（愛媛：新居浜）について

—愛媛県セーリング連盟 大槻氏から説明—

→確認事項 開催日程：2015年11月で開催を確認した。

→微風等のルール変更については、SCIRAに問い合わせの上、変更内容を決定する。

→エントリーフィーについては、大学生の参加が多いことも考慮し、各種補助金等を活用するなど、低く抑えられるよう検討をお願いしたい。

→レセプションの実施は、協会として、最高の、メイン大会となり、全国からの参加者の懇親を図る重要な場として位置付けられる。内容は開催地に任せる。

2015年レース予定

	全日本 Jr	全日本女子	全日本マスターズ
開催地	琵琶湖（同志社w）	蒲郡	蒲郡
日 程	2015. 3. 21-22	2015. 8. 8-9	2015. 8. 8-9

④2016全日本選手権について

各水域持ち割りで行ってきたが、今後どのようにしていくかを検討していく必要がある。

2016年は関西、2017年は関東で開催を予定しているが、福井から開催の打診を受けている。

全日本選手権と世界選手権等の選考レースの意味合いがあり、チャンピオンシップにふさわしい全日本、一方で、全国各地で開催する実業団（プレ国体）を普及や強化等と位置付けて、全日本の棲み分けを行っていったらどうか。

→次回2月の理事会で検討を行うこととする。

⑤その他

→次回全日本のレース公示に不成立時の取り扱い等について、記載を行う。

→ワールドマスターズでは、JPNがないまま参加したり、計測関係も含め各水域のフリーキャプテンの位置づけは重要になっているので、活性化のために頑張っても

らいたい。

■ 広報・普及から提案

- ① 協会HPにデコールとメンバー登録の件で問い合わせが多い。各水域でアナウンスをお願いしたい。
(FAQで掲載しているが、未確認のまま、メール送信するケースが多い)
- ② 協会としての情報発信の充実を図ってはどうか。Facebook などupすると3500人くらい見てくれている。もっと情報を出していくべき、広報として、全日本や各水域等、リンクして情報を充実、発信していきたいと考えている。
→ 目的やターゲットなどを明確にし、広報内容等 (HP・ルール) に必要な経費、内容を、次回2月の理事会で提案してもらいたい。

3 報告事項 (※下線項目は、2月理事会で報告)

- ① 計測委員会
- ② 2014 マスターズワールド
- ③ 2014 西半球選手権
- ④ 2015 ワールド、Jr ワールド：イタリア9月
- ⑤ 次期水域理事候補 (2016) 2015年6月までに推薦

4 その他

- ・ 理事長ビジョン (西村理事長)
各水域に共通することだが、メンバー登録、レース参加者の減少が報告されている。
どうすべきか、各水域メンバーでしっかりと考えてもらいたい。

— 3つの提案 —

- ① 体種目への復活
JSAFヘスナイプクラスの国体種目復活を訴えていきたい (まず文章にて)。
- ② ワールドチャンピオンの
SCIRAとして、ワールドチャンピオンの各種レース参加派遣への助成を行っている。今後、全日本への招待や強化合宿の開催など企画していきたい。
- ② 団体戦の創設
普及や懇親も含め、各水域や企業・大学・高校・自治体などのOB・現役、1チーム2艇による団体戦を企画していきたい。

2015年 各種レース予定 (参考)

	国体	プレ国体	インカレ	全日本対抗	備考
2015	和歌山	岩手	江の島	愛媛	
2016	岩手	愛媛	広島		ワールド予選
2017	愛媛	福井			
2018	福井	三重			ワールド予選

次回理事会は、2015年1月31日 (土)、2月1日 (日) で開催を予定。

日本スナイプ協会 理事顔合せ会 会議録

日 時 2014年3月15日 11時～17時
場 所 愛知県刈谷市 シャインズビル 会議室
出席者 篠田顧問、西村、野元、吉留、川村、内田、村山、内山、宮崎、五十川、三森、白石、野見山、鈴木、笹井、山田、岡田（書記）

議 題

1 理事長あいさつ

・役員選出（2014～2015）について

別紙役員名簿のとおり、確認した。

・理事長ビジョン：（選手の強化、会員の代表として協会の発展・躍進）

2 自己紹介

各理事から、自己紹介と水域の現状、課題について報告

- ・役員選出手順の明確化→（選手の立場での）規約改正等
- ・東北震災被害復旧状況と全日本開催に向けての思い
- ・東北選手支援、ワールドマスターズチャーター艇手配を通しての支援
- ・全日本のレポートもブリテンに掲載を依頼 など

（1）広報・普及から提案

情報発信手段として、Facebook（2/14～）、Twitter（4/1 予定）の開設、HPのリニューアル（閲覧者ニーズへの確に対応）も予定している。

その他、会員増加への取組み、各種手続きの明確化や広報活動、普及活動の拡大、充実を計画。

3 ワールドマスターズについて（野元理事）

①レース概要

8月25～30日 福岡市ヨットハーバー（小戸）にて開催

3月10日ホームページを開設し、3月15日から参加受付を開始。

3月15日～5月31日 6万円（アーリーエントリー）

6月 1日～ 8万円（レイトエントリー）

※全てクレジット決済

海外選手：自艇、持込艇、チャーター艇

国内選手：自艇、持込艇のみ

■注意事項（各水域にて、参加者へ周知・確認のこと）

①レース公示：3. 2参加資格

⇒ 国内参加者においては、会員登録＋JSAF 会員登録が必要。

②デコール

⇒ トランサム前のスターボードサイド（ハル）に貼付

③ジブセール

⇒ 160g/m²のスタンプは必須

■依頼事項

広告募集：大会プログラムに広告掲載の呼掛けを依頼

→掲載依頼は、福岡県連岩瀬理事長へ直接連絡をお願いしたい。

大会補助金として、本協会から500万円を補助している。その内、200万円については、篠田顧問から個人的支援が含まれていることが報告された。

②チャーター艇

チャーター艇について、現在34艇が近隣水域等から準備できている状況。

4 その他

①全日本スナイプについて（11月11—16日）：石川県和倉

■大会日程等の変更

（計測関係）当初12日からの計測であったが、11日14時からに変更

（レセプション）当初12日（水）⇒15日（土）18時に変更

→理事会開催時間は調整必要（短時間で確認できるよう工夫）

大会参加費は4万円

②西半球選手権（9月6—12日）：サンディエゴ

国際大会参加者 2013全日本上位5チームが参加資格を有する。

女子枠1チーム、Jr1チーム（2014Jrで決定）

各参加者の水域理事は、参加の有無を確認すること。

③計測関係（百済理事）

3月20日 計測員更新講習会 5月5日 新規計測員講習会

■ルール改正等

ルール変更の動きがあり、フォームも含めて見直し中。

改定時期は、現在のところ、未定である。

日本語版については、冊子は作成せず、webにて確認できるようにする。

セール計測について、160g/m²については、2014年の国内大会（全日本を含む）においては、免除する。（2013.11月理事会で決定）

計測方法は、2011年以降の計測方法による。

2015年からは、全てのレースにおいて、適用する。

（参考：メルゲス20のIHCが追加された）

④その他

●全日本優勝者は、永久シードを付与してはどうか。⇒継続審議（11月の理事会）

●各水域での持ち回りによる全日本選手権について、18年以降の開催水域等については、継続審議となった。（水域の状況、国際大会参加選手選考等を踏まえ、今後の全日本開催水域のあり方を検討）

●各水域での活動状況を共有・周知するため、フリート内で、レポートの記載依頼、取りまとめを行い、フリートキャプテンがレポートを提出。

●6月7—8日海陽にて、ミッドランドJAPAN、中部実業団、全日本Jr&女子を兼ねて実施する。各水域へ周知してほしい。

●エンブレムの作成を検討。デザイン等については、広報・普及を中心に企画・提案する。

2014年 レース予定

国内

6月7—8日 全日本Jr&女子 : 海陽

8月25—30日 全日本マスターズ : 小戸（ワールドマスターズと兼ねる）

11月11—16日 全日本 : 和倉

国際大会

8月25—30日 ワールドマスターズ : 小戸

9月6—12日 西半球選手権 : サンディエゴ 5チーム、女子1、Jr1

11月3—10日 女子ワールド : アルゼンチン